

河川整備基本方針における計画高水流量の設定

基準地点松浦橋 計画高水流量 3,500m<sup>3</sup>/s

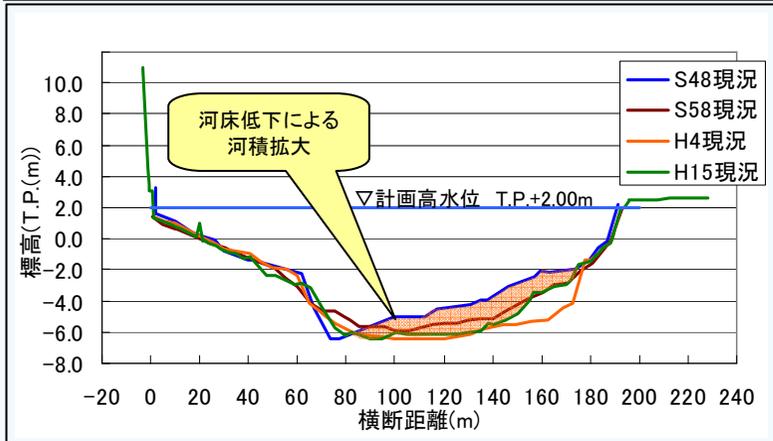
【河口部の形状】

- ・左右岸は家屋（市街地）が密集、左岸には唐津城（引堤や嵩上げ困難）
- ・河口部は直上流と比較して急激に狭小



【河口部断面の経年変化】

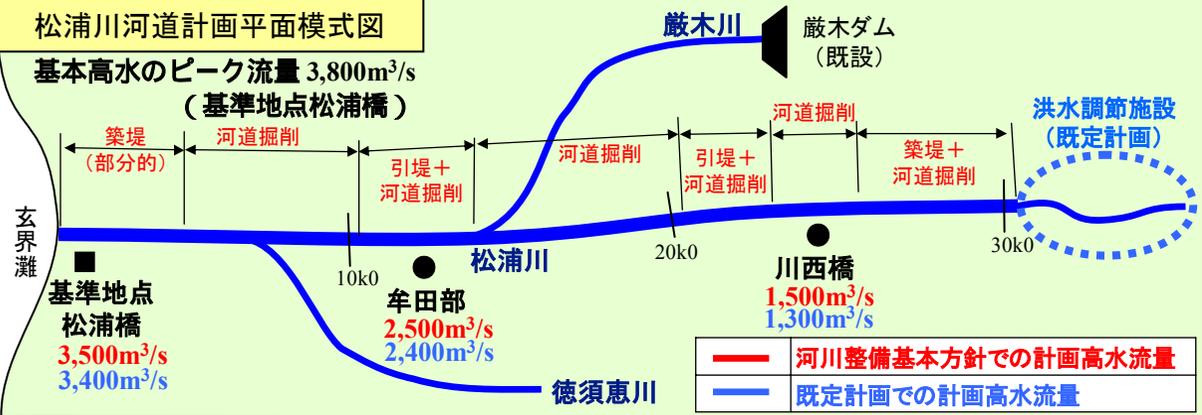
河口部横断面図(0k0地点)



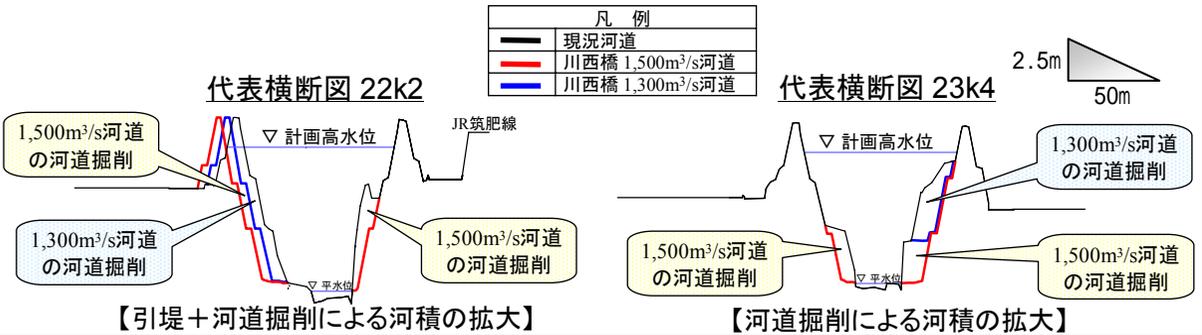
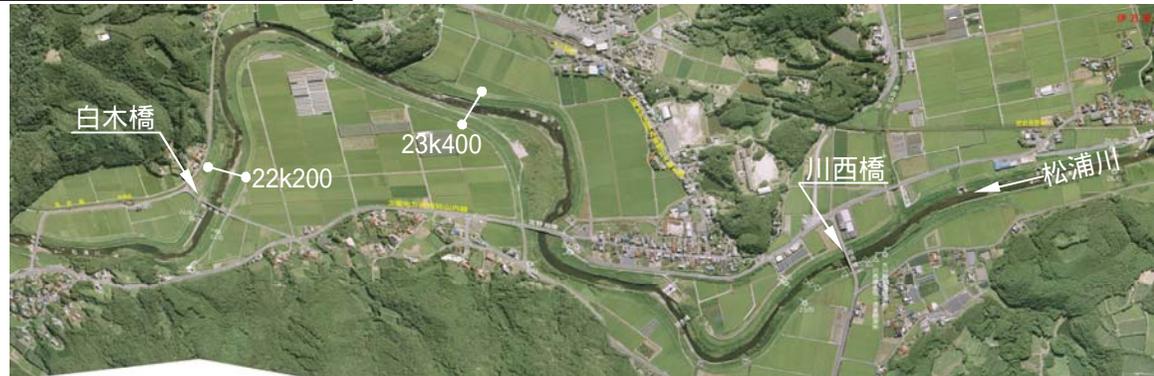
- ・既定計画策定後、昭和57年洪水、平成2年洪水等により河床が低下し、3,500m<sup>3</sup>/s前後の流下能力となったが、これまでの間に河岸や河床の治水上の問題は特段生じていない。
- ・これまでの河床変動経緯を踏まえ、モニタリングも含めて河道管理を適切に行うことにより、3,500m<sup>3</sup>/s程度の河道の維持は可能。

松浦川河道計画平面模式図

基本高水のピーク流量 3,800m<sup>3</sup>/s (基準地点松浦橋)



川西橋付近の河道計画



中上流部の計画高水流量の増分については、河道の維持等に配慮しながら掘削、引堤などの河積の拡大により対応するが、整備にあたっては人口・資産が集積する下流部の整備の進捗を十分に踏まえて実施。

厳木ダム上流域は、流域全体に占める流域面積の割合は大きいものの、山地帯で多雨地域であり、洪水調節が効果的

## 流域図

厳木ダム上流域の流域面積は、流域全体の約8%

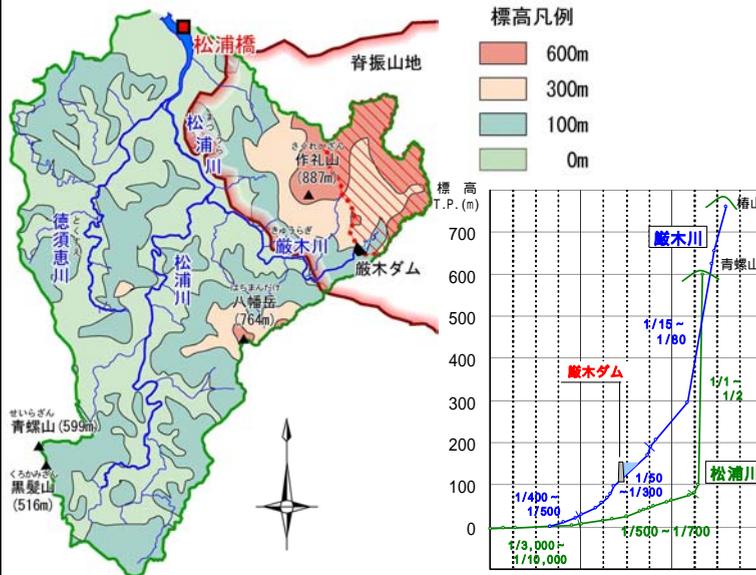


流域	流域面積	全流域に占める各流域の割合
松浦川流域	446km <sup>2</sup>	100%
厳木川流域	94km <sup>2</sup>	21%
<b>厳木ダム上流域</b>	<b>34km<sup>2</sup></b>	<b>8%</b>

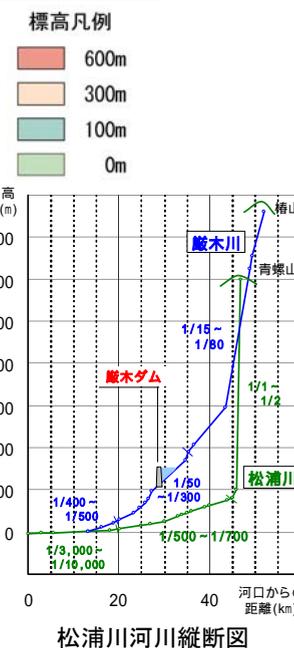
松浦川流域図と分割流域毎面積

## 地形特性

厳木川流域は標高の高い脊振山地



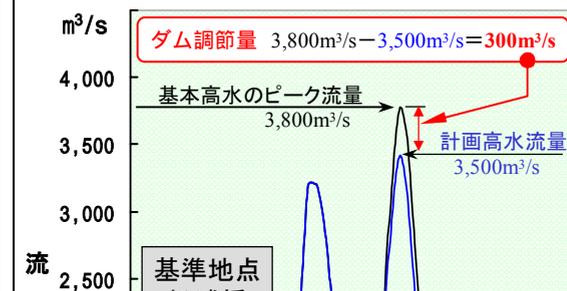
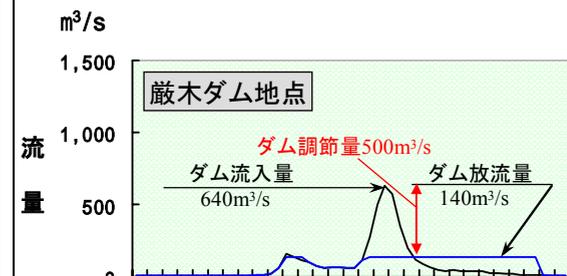
松浦川流域の高度分布



松浦川河川縦断面図

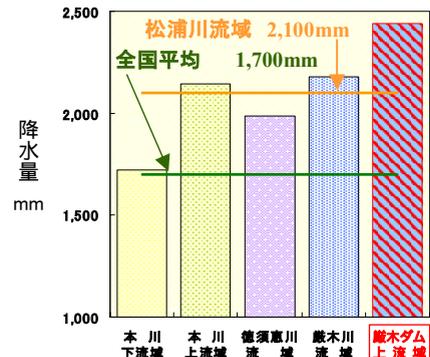
## 厳木ダムの洪水調節効果

### 昭和57年7月型ハイドログラフ

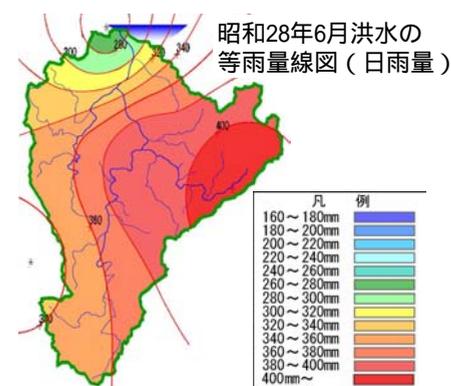


## 降雨特性

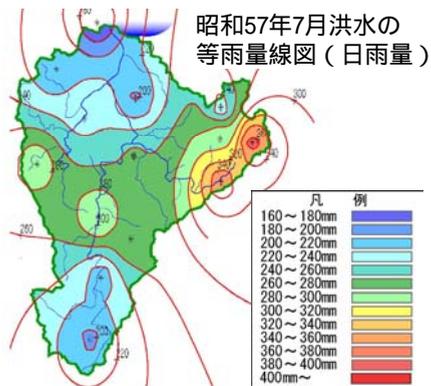
厳木ダム上流域の平均年間降水量は約2,450mmで、全国平均の約1.4倍、松浦川流域の約1.2倍となる多雨地域



松浦川流域の平均年間降水量 (S42~H15(37年間))



昭和28年6月洪水の等雨量線図(日雨量)



昭和57年7月洪水の等雨量線図(日雨量)